

2016年度の事業報告書

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

特定非営利活動法人日本芸術家協会

1 事業の成果

今年度の主たる事業活動の成果として、東京都美術館の第39回JAG公募展（本展）と2016春季JAG展が事業の主体展覧会である。事業の成果を推進する付随活動の開催としてJAG東京小品展、2016JAG湘南展、たけとんぼの会絵画展（各活動教室の発表展）の各開催実績が挙げられる。特に本展のJAG展は一般公募を謳い、他の展覧会も一般へ広く門戸を開いてきた。SNSによる全活動の広報を主体に、活動内容と全作品の掲載を実行し、応募出展者に繋がる機会を持てた。会員による各地域での絵画教室、スケッチ会、人物画デッサン教室など、担当する熱意あるメンバーの地道なボランティア活動により、協会の大事な普及活動基盤を支えている、且つ地域社会への貢献の一翼を担っている。他団体も公募から新会員までの増数に苦労しているように、我が団体も公募者数の拡大に力を注いでいる最中である。3期続いた学生グループの果敢な公募出品についても若い作家が社会人になってから個別に出品してくれる事への種蒔き広報の期待を持って呼びかけをしている。将来少しずつ成果に結びつくように努力研鑽を積み重ねていく所存である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 具体的な事業内容 | (A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数 | (D)受益対象者の範囲 (E)人数 | 活動計算書の事業費の金額（単位：千円） |
|-----------|--|---|----------------------------------|---------------------|
| ①展覧会の開催事業 | 2016 春季 JAG 展 秋の JAG 展一般公募に応募される方の導入ステップ、作品の制作・出品を経験するとともに、会員との交流をはかる | (A) 4月19日-25日 (B) 横浜市民ギャラリー野毛方面・西区宮崎町 (C) 延 97名 | (D) 一般、会員 (E) 79名 | 325 |
| | 第39回JAG展 公募展として広く一般より作品を公募し、優秀な作品を展示、賞を与えて、研鑽のきっかけを提供する | (A) 11月16日-24日 (B) 東京都美術館（上野） (C) 延 112名 | (D) 公募、会員 (E) 99名 | 2163 |
| ②普及活動 | 人物画勉強会 | (A) 1/29, 2/26, 3/25, 4/15 5/27, 6/24, 7/29, 8/26, 9/23, 10/28, 11/25, 12/16 (B) 横浜市民ギャラリーあざみ野 (C) 各回3名 | (D) 一般、会員 (E) 各回毎約 20名～30名 | 82 |

| | | | | |
|----------|--|---|---|-----|
| | スケッチ会 | (A) 3/30, 5/12, 8/11, 10/20 (B) 相模川三段の滝、神奈川県立四季の森公園、横浜市青葉区子供の国 (C) 各回 25 名～40 名 | (D) 一般、会員 (E) 各回毎約 30 名 | |
| | 絵画教室 4 教室（絵画ボランティア、水彩画同好会、絵画芸術を考える、人物画制作特別企画） | (A) 各教室：金曜日と火曜日（月 2, 1 回） (B) 青葉区文化センター、アートファールムあざみ野 (C) 各回 3 名 | (D) 一般 (E) アートファールムあざみ野 金曜日 10 名 火曜日 10 名 青葉区文化センター 金曜日 15 名 | |
| ③ 広報啓発事業 | ホームページに展覧会開催等の活動スケジュールの広報、および展覧会展示作品の写真掲載 | (A) 2016 春季 JAG 展、第 39 回 JAG 展出品作品を掲載、過去ログ作品閲覧 (B) www. jag-ten. jp (C) 3 名 | (D) 会員、一般、公募 (E) 2016-12/31 まで総アクセス数が 12 万カウントを超える | 655 |
| | JAG の季刊新聞・JAG ニュース発行 | (A) 年 2 回発行 (B) 印刷媒体とネット閲覧と併用開示 (C) 2 名 | (D) 会員、一般、公募 (E) 印刷物で訴求 各回 300 部発行 | |